

千八百七十八年十月九日刊行東京「タイムス」新聞抄譯

通貨論

大藏省
翻譯課

13

407



114
A 3486



千八百七十八年十一月廿日刊行東京「タイムス」抄譯

峯源次郎譯

大正十一年四月
限正十一
侯
寄
贈

通貨論

墨西哥「ドル」之空價ト金札トノ間ノ差ノ増騰マシヨリ某論者アリ日本人ヲシテ理財上ノ「パニツク」ヲ起サシメントシテ不適當ノ論ヲ紙上ニ掲載シタリ
然リ而シテ今ヤ右墨西哥「ドル」ト金札トノ間ノ差タル一ヶ月ヲ出サルニ減サシタルヲ以テ右記者ノ議論タル既ニ世ノ嘲哂スル所トナレリ
然ト雖モ該記者タル尚ホ屈撓ハ、強テ日本人民ヲシテ危懼ヲ抱カシメ安堵スル能ハザラレムルノ論勢ヲ張テ止マサルニ由リ蓋シ該記者ノ云フ所ヲ察スルニ該記者ハ外國人中墨西哥「ドル」ヲルノ市價ノ騰貴スル益ニ盛シナルヘシト信レテ疑カハサレ

モノアリシニ由リ忽チ予想ヲ下シタルナリ
其予想ヲ下セシニ就テハ種々ノ預言ヲ爲シ殊異ニ墨西哥「ドル」
ナルノ騰貴スル「ドル」ノ一端ニノミ偏依シテ日本ノ理財上ニ影響
アル「ドル」論シ他ノ事情ヲ顧ミ「ドル」モノ、如シ
然レモ之ヲ實際上ニ徴シテ觀察スルモ余輩既ニ説明セシカ如
ク墨西哥「ドル」ナルノ市價ノ獨リ騰貴(其割増ノ如何程増大ナル
ニモセヨ)スルノミノ故ニ人心ニ不安ヲ起スル、
「ドル」ナルヘキ
ノ「ドル」ナリ

今ヤ果シテ其然ルヲ見テ改警報者トモ称スヘキ記者ノ云フ所
ノモノ、理ニ乖ハレテ確カク「ドル」ナルヲ知ルニ足ルナリ
其墨西哥「ドル」ナルノ市價ノ騰貴タルヤ日本國ノ紙幣ニハシテ
百分ニ付キ二割(其騰貴シタル家上ノ点)ヲ超ヘスレテ終ニ下リ
百分ニ付キ一割二分ノ割合ニ至タレリ但シ此点ニ於テ稍々高

低スルアルノミナリ

騰貴シタル墨西哥「ドル」ナルノ市價右ノ如ク低降セルヲ以テノ
故ニ彼警報記者ハ其議論ノ根元ヲ茲ニ失却シタルナリ
之ニ由リテ警報「者」ハ又々別ニ他ノ点ヨリ一種ノ議論ノ元素
ヲ構ハシ薫々トシテ之ヲ主張セタリ
其議論タルヤ直チニ之ヲ斥スルモノナキカ故ニ曩ノ墨西哥「ド
ル」ニ騰貴ノ論理ニ比スレハ一層其論勢ヲ強ク然タルモノ
、如キヲ知ルナリ
乃チ右記者ノ政府ニ對シテ非難スル所ノ結局ノ論旨ハ紙幣發
行ノ過度ナリト云フ是ナリ而シテ其云フ所ニ於テハ政府過度
ニ紙幣ヲ發行スレハ信ヲ人民ニ失スルハ当然ナレモ若シ過度
ニ紙幣ヲ發行スルモ猶ホ信ヲ人民ニ失スルナカリモハ政府人
民共ニ其國ヲ奉ケテ信ヲ外國ニ薄シ茲ニ至リテ助力ヲ外國

ニ請フモ容易ニ外國人ノ助カマサレ所トナルヘシト固執シ
ルナリ

横濱新聞

按スルニ即チ所謂
警報記者ヲ指ス

ニ掲載シタル論説ニ拠レハ其金札

発行過度且ツ發行ノ其當ヲ得ルルト云フ論ハ確實ラレクシテ
世人皆其説ニ眩惑サレ其説ニ服従セサルヲ得サルカ如ク論シ
来タリタルナリ

且ツ之ニ加フルニ其然ル所以ノ明証アルカハ、僅々トシテ論
シ来タリタルヲ以テ其論説ヲ讀ムモノ或ハ實ニ之ニ眩惑セラ
レテ之ヲ正論至当ト誤認スルモノナキニシモアラサルヘキナ
リ

余輩彼新聞紙ヲ見ルニ其中各人皆ナ紙幣發行ノ過度ナルヲ知
レリト云ニ或ハ洪水按スルニ紙幣發行ノ過
多ナルヲ云フナルニ過令方ニ氾濫スルニ
人敢テ之ヲ議セスト云ニ此他猶ハ教多ノ厚顔自信ノ語アル以

ナカラサルナリ

然ト虫氏真理ヨリ之ヲ見ルトキ、何人ニテモ口ニコソ紙幣發
行ノ過度ヲ唱ユレ其真ノ實徵ヲ問フハ則チ茫乎トシテ之ニ
答フルトヲ知ラルナリ

且ツ、百ノ世間ノ事タレ亦害無益ナレハ人其實徵ノ奉テ証ス
ヘキモノヲ議セサルハナレ然ルニ今其實徵ヲ得テ議スルモノ
ナキハ何シヤ他ナレ之レ則チ世ノ便々々々論者ノ輩紙幣發
行ノ過度ナリト云フ實徵ヲ得ルトナキガ故ナルノミ

斯ヲ以テ証拠ノ得テ紙幣洪水既ニ此國ニ氾濫スルヲ証スヘキ
モノアルヲ見サルナリ
今其紙幣過度ノ事タル想像ヲ以テスレハ則チ想像スヘキヲ得
ヘキナレト確然コレヲ明徵スル以上ニアラズシバ安クシテ彼
ノ無字ノ黎庶ヲシテ疑心ヲ起サシテ而シテ黎庶ノ由テ以テ安

全幸福ヲ得ヘキ所以ノ元素タル紙幣ニ嫌疑ヲ生セシムルヲ得ベケンヤ

又夕彼ノ災害ヲ豫言スルノ論者(按スルニ警報記者ヲ指ス)ハ竊ニ政府ノ機

密ヲ断知レ得ヘキノ道理アル故ニ譬へ其精微ヲ尽ス能ハサ

ルモ其概畧ヲ明カニ筆舌ニ顯ハスヲ得ヘシト仮想ヲ下スモ決

シテ其言フ所ノ如キ事ハ万々アラサルノトナリ

其故如何トナレハ暫時大蔵卿ノ不在ナルカ故ニ事遺憾ナキ

能ハスト虫氏抑モ事ヲ明告セス秘匿スルカ如キハ余輩曾テ大

蔵卿ノ改畧ニアラサルヲ信セリ

且ツ輕躁ノ言論ハ其真意ヲ確知スル能ハス歟々一時人及相

ニ付テ觀察スルヨリシテ往々事ヲ誤認スルトアルヘケレド誠

實適當ニ事ヲ吟味シ大蔵卿カ施行セシ事跡ニ付テ熟考スレハ

大蔵卿カ万爭明告シテ偽ハルトナキヲ余輩ハ信スルナリ

譬へハ九州ノ逆徒戡定後ノ如ク若シ其紙幣(按スルニ起説業公債証券ヲ指ス)預レハ必ス之ヲ公布シ

テサシモ秘匿スルトナキナリ

故ニ横濱新聞記者ハ自ラ政府ノ機密ヲ探知シ得タリト思ハル

ヘケレド其論固トヨリ無キ不定ノ妄想ニ出タルモノナレハ瘋

癲白痴ノ人ハ或ハ得テ欺クヘケレド苟シクモ思考力ヲ具ヘタ

ル人ニ至リテハ安クソ得テ之ヲ欺クヘケレド

即チ大隈大蔵卿ハ今ヤ日本國ノ財政ヲ擔当スルノ大任ニアリ

ナカラ猥リニ事ヲ秘匿シテ日本國ノ禍害ヲ招クカ如キ至愚ノ

改畧ヲ為サハルヤ之ヲ大蔵卿 從前ノ行爭徴シテ知ルヘケレ

ハ今更余輩ノ喋々スルヲ待タス天下皆チ大蔵卿カ至誠ヲ推シ

事ヲ秘匿セサルト知ルナリ

彼ノ警報記者ノ所論ヲ災害屈辱ト云フトテ論決スルニ先ツテ

右論者ノ無根ノ妄想論ヨリハ他ニ日本人民ニ於テ思ルヘキノ
事件アル其源因ヲ今コトニ論及セサルヲ得ス
其源因タル即チ紙幣ノ發行夥多ニシテ從テ貿易ノ混雜ヲ來ク
シ貿易ノ進歩ヲ妨害シ貿易ノ取引ヲ錯雜スルノ弊ヲ具セリト
衆人ノ中ニ便々コレヲ論スルモノアルヲ見ル是ナリ
然ト雖モ余輩ノ望ム所ノモノハ日本人ニシテ苟シクモ此紙幣
發行夥多ノ主義ヲ談論スルモノハ先ツ紙幣發行ノ報告ヲ正不
正ヲ穿鑿シテ若シ其報告タル虚偽ニ涉ラサルヲ知ラハ自省
シテ其評論スヘキノ區域ヲ限リ漫ニ妄言スヘカラサルナリ
抑モ紙幣發行ノ過度ノ弊タル日本商賣品類ノ價直一様ニ増
加スルヨリ外ナラサルヘシ例之ハ米國內訌ノ時ニ當リテ綠裏
紙幣ト金貨トノ間ノ差ハ今日日本ノ金札ト金貨トノ間ノ差
アルカカリニシテ
ハ倍ナリシナリ

其時ニ當リテ物價ハ諸品皆ナ一様ニ騰貴セシカ故ニ外國貿易
ノ困難ノ外ニハ内國人民ニ於テ一ノ困難ヲ來サ、リシナリ
然レモ合衆國ハ其貿易ヲ以テ獨リ内國ニノミ限キルテ法ハ可
リシカ故ニ當時合法貨幣ハ内國貿易為ニハ充分ナリシモ常ニ
外國貿易上ニ於テ困難ヲ呈シタリ之ニ由リテ從テ又チ内國ノ
困難ヲ來タスニ及ベリ
然リト雖モ日本ハ今ヤ外國貿易上ニ於テ如何ノ困難ヲ生セシ
カ恐テクハ大困難ヲ來タセシトハアラサルベシ
日本ト外國トノ貿易ヲ明日停止スレハ敢テ論セス今日マテノ
所ニテハ墨西哥「ドル」騰貴ノ差響タル日本國民ノ啜々一部
ニノミ止マルニ過キサルヲ知ルナリ
故ニ余輩ハ墨西哥「ドル」ノ騰貴シタルハ日本人民一般ノ害
トナルト云フノ説ハ到底無稽ノ妄説タルヲ信スルナリ

其妄説タル一個ノ虚説トスレハ可ナリ苟シクモ之ヲ議論ト
謂フヘカラサルナリ

然ト雖モ他ニ又タ論者アリ日本銀債ノ價直ハ其騰貴スル殆
ト墨西哥「ドルラ」ニ齊シト云フモノアルヲ聞ケリ

然レモ談論者ノ謂フ所ノ如ク日本銀債ノ必ラス墨西哥「ドルラ
」同様ニ騰貴セルト假定セヨ之カ為ニ果シテ何ボノ弊害アリ

日本國中ノ衆庶コレマデ互ニ交易取引スル為ニ金債或ハ銀債
ヲ必要ノモノトシテ使用セタルヲアリヤ余輩ノ所見ニ依レハ

決レテ斯ノ如キトハアリシトナカルベシ
又タ日本造幣局ヲ建設セシ以来既ニ数年ノ星霜ヲ経タレモ全

國中金銀債ノ一般ニ流通スルアルヲミタルモノアリヤ
又タ日本ノ論者ニシテ政府施政ノ不良ナルニヨリテ人民ハ其

商業ニ必須トモ思ハヌ金銀債幣(按スルニ紙幣ニテモ事滿)ヲ非
常高價ノ割増ヲ拂フニ非サレハ買フトヲ得サルカ為メ之ニ

田リテ一般ニ貧窮ニ陥入スヘシト云フカ如キ妄論ヲ唱フルモ
ノアルヲ聞カサルナリ

茲ニ至リテ論スヘキノ問題ハ日本人民ノ買ハント欲スルノ物
品ハ其買ヲ好マザルノ金銀債ニ比較シテ蓋シ損ナリヤ或ハ利

ナリヤ如何ナルヤノ点ニアリ
余輩嘗テ聞ク所ニ拠レハ日本ノ産物ニシテ彼ノ暴風雨(按スルニ去年九月中ノ霖雨暴風ヲ指ス)

ノ時以來其時價百分一分乃至二分騰貴シタルモノハ稀ナリシ
カドモ然レトモ商人輩自ラ此物價騰貴ノ変化ヲ生シタル所以

ヲ知ラズレテ誤テ物價ノ必ラス愈々増加スヘキヲ妄信シ其機
ニ投シテ利ヲ射ラント謀カリシニ過キナリトナリ

然ト雖モ日本國民ノ如ク盛國一種族ノ結合シタル社會ニテハ

物價ノ一回變化スルヲアレハ其變化ハ必ラス一ノ商品或ハ二
三ノ商品ノミニ止マラサルヘシ

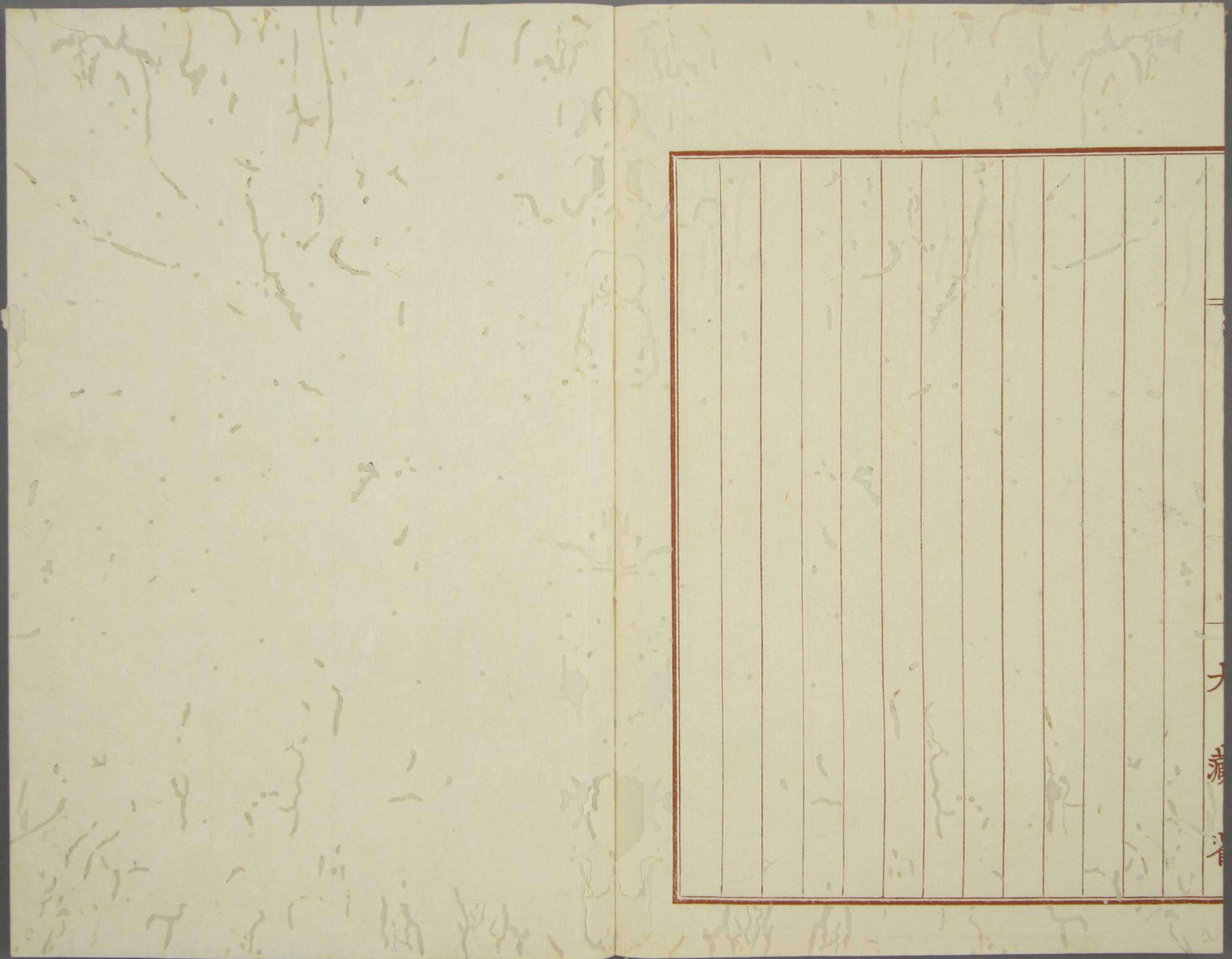
若シ米高米價ヲ二倍ニスルハ酒賣地主結髪師茶賣及ヒ其他
諸般ノ商賈又ヒ悉ク其物品ノ價ヲ二倍ニナスヘシ然レハ
則チ其物價ノ割合ハ初メ其變化ヲ起サ、リレハニ殊ナルナ
シ

然レモ余輩ハ断然斯ノ如キ物價ノ一般ニ變化ヲ生スルヲ欲ス
ルニ非ラス如何トナレハ斯ノ如キ變化ノ實際ニ生スルヲ信セ
サルカ故ナリ

然リ而シテ彼ノ横濱新聞記者ノ論スルカ如キ災害ノ將來日本
ニ萌生スルノ説ハ縱へ實際日本ニ於テ過多ニ紙幣ヲ発行スル
様ノトアリト仮定シテ論スルモ其全ク虚談ナルヲ知ルヘキナ
リ

且ツ日本新聞記者ノ窠モ聰明ナルモノニシテ外國新聞紙ニ登
録セシ歐洲商人ノ中ニ誰カ日本將來ノ利害ニ付テ説話セシモ
ノ、説ヲミテ之ヲ妄信シ日本人民ノ將來ニ於テ難波貧窮ノ状
態ニ陥入スルト可認シテ其目ヲ刮シテ真理ノ在ル所ヲ看ル能
ハサルカ如キハ固ヨリ余輩ノ理會スル能ハサル所ナリ

其理會シ難キノ擷定^空ノ論意ニ至リテハ獨リ余輩ノ理會スル能
ハサルノミナラス何人カ之ヲ理會明朗ニ其説ニ敬服シ敢テ啄
テ察ル、モノナレト云フヲ保センヤ恐ラクハ一人ニテモ之ヲ
明解シ理會スルモノアラザルベシ



六
清
卷

